

経理関連業務の効率化に向けた 金融 E D I の活用について



足立成和信用金庫



目次

- | | |
|---|------|
| 1. 金融 E D I について | P 2 |
| 2. 全銀 E D I システムについて | P 8 |
| 3. 足立成和の法人向けインターネットバンキングによる金融 E D I サービスについて | P 15 |
| 4. 足立成和の一括ファイル伝送 (F B) による金融 E D I サービスについて | P 25 |
| 5. ご利用時間 | P 36 |
| 6. ご照会先 | P 37 |

1. 金融EDIについて

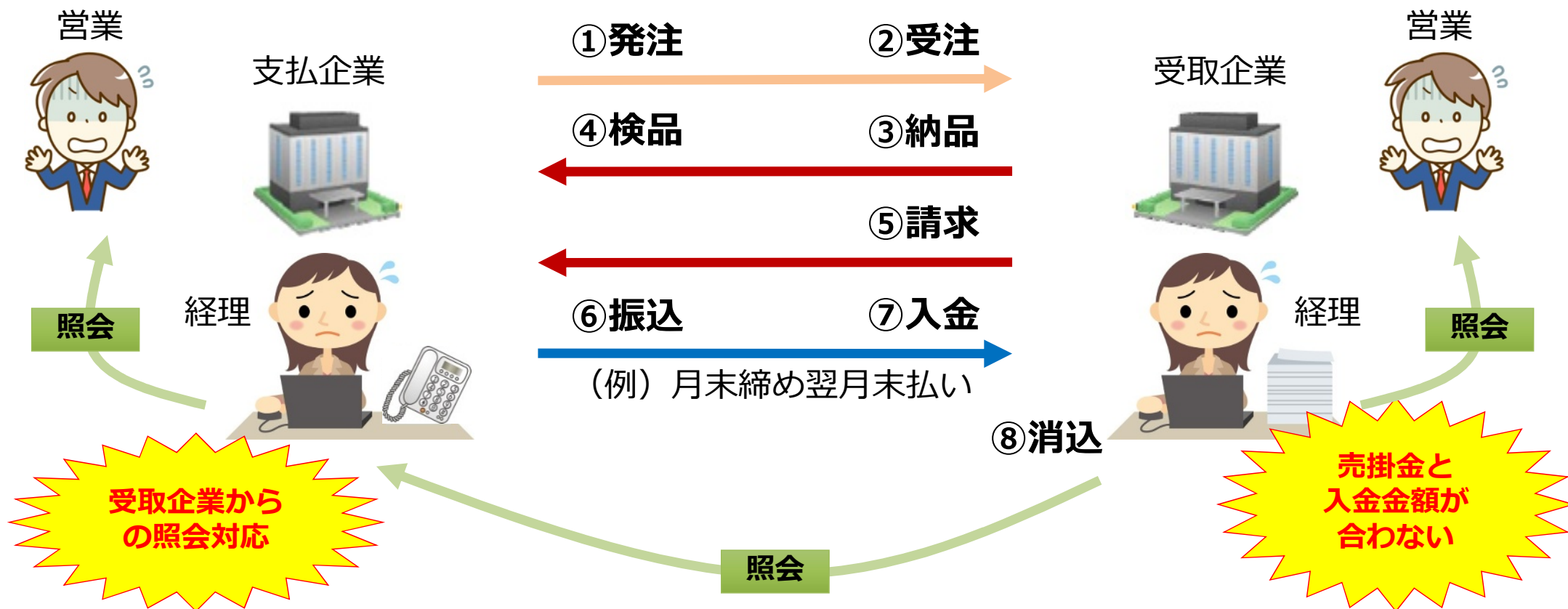
1-1. 金融EDIとは

- EDIとは、Electronic Data Interchangeの略称であり、商取引に関する情報を企業間で電子的に交換する仕組み
- EDIには2種類あり、それぞれの概要は以下のとおり

商流EDI： 受発注や請求などの商取引に関する情報を、電子データにより通信ネットワークを用いて企業間で交換・共有する仕組み

金融EDI： 受発注や請求などの商取引に関する情報を振込等に添付し、交換・共有する仕組み

1-2. 売掛金等の消込（回収確認）の現状



- 企業の多くが複数の商取引の代金を合算して支払い(振込)。
- 受取企業側で認識している回収金額(売掛金)と、実際の入金金額が合わないケースがある。その場合、営業担当や支払企業に照会するなどにより原因を究明する必要がある。

1-3. 売掛金と振込入金情報の照合（現状）

振込入金情報

データ区分	照会番号	勘定日	入払区分	取引区分	取引金額	振込依頼人名	仕向銀行名	仕向支店名	EDI情報
2	1	290825	1	11	000067427880	マルマルバンク 30(カ)	ミナバンク	パナ	
2	2	290825	1	11	000021431950	マルマルグループ(カ)	スルバンク	アガハ	

1

2

3

照合

売掛金明細

取引先名: ○○産業株式会社

検収日: [] ~ []

検索

<< ページ: 1 >>

1~15 / 15件中

取引先	請求日	入金期日	請求番号	注文番号	品名コード	品目名	単価	数量	金額
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10001	3100-0444	1LAS	¥15,000	10	¥162,000
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10002	1001-0001	B6ZKSD-1	¥399,980	8	¥3,455,827
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-10003	5000-9900	CTGPP	¥4,560	100	¥492,480
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-20004	3100-0444	1LAS	¥15,000	10	¥162,000
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-20005	1001-0001	B6ZKSD-1	¥399,980	32	¥13,823,309
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-20006	5000-9900	CTGPP	¥4,560	100	¥492,480
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30007	3100-0444	1LAS	¥15,000	10	¥162,000
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30008	1001-0001	B6ZKSD-1	¥399,980	4	¥1,727,914
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/21	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30009	5000-9900	CTGPP	¥4,560	100	¥492,480
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/22	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30010	3100-0444	1LAS	¥15,000	10	¥162,000
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/22	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30011	1001-0001	B6ZKSD-1	¥399,980	8	¥3,199,840
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/22	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30012	5000-9900	CTGPP	¥4,560	100	¥456,000
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/22	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30013	3100-0444	1LAS	¥15,000	10	¥162,000
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/22	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30014	1001-0001	B6ZKSD-1	¥399,980	30	¥12,959,352
○○産業株式会社	2017/8/1	2017/8/22	INV-17AUG-0001	ORD-17JUL-30015	5000-9900	CTGPP	¥4,560	100	¥492,480

代行会社からの
支払等で
振込依頼人名が
合わない

勘定日と支払期日の
ズレ等により
ミスマッチが発生

合算支払いのため
合計金額が合わない

1~15 / 15件中

1-4. 金融EDIの活用効果



- 金融EDIを活用することで、売掛金の消込が効率化。
- 経理業務の負担軽減のほか、営業担当や支払企業への照会も不要になる。

1-5. 金融EDI情報として搭載すべき情報（経済産業省・中小企業庁）

管理上利用する項目	最低限必要な項目	IT化推進による事務合理化に必要と思われる項目	利用可能とすべき項目	
業界区分	支払通知番号 ※1	受取人企業法人コード	支払番号	製品名
データ区分	支払通知発行日 ※1	請求先企業名	受取人企業連絡先電話番号	支払内容
	請求書番号 ※2	請求先企業法人コード	支払人企業連絡先電話番号	契約名
	支払人企業法人コード ※3	支払金額(明細)	請求先連絡担当者	締日
		税額	請求先連絡先部門	入金予定日
		税区分	請求先電話番号	納品伝票番号
		税率	行番号	請求書発行日
			発注番号	金額相殺理由コード
			受注番号	相殺金額
			単価	受取人企業名 ※4
			数量	支払人企業名 ※4
			納入番号	支払合計金額 ※4
			納入日時	支払日時 ※4
			製品コード	

※1：支払対象債務・支払日・支払金額・支払方法（振込か電債か）を通知する文書に付すもの。該当する文書が存在しない場合は記載せず、金融機関側で自動付番（振込みの際に使われている既存の受付番号等を利用）。

※2：請求書（ないしそれに類する書類）を発行していない場合は記載不要。

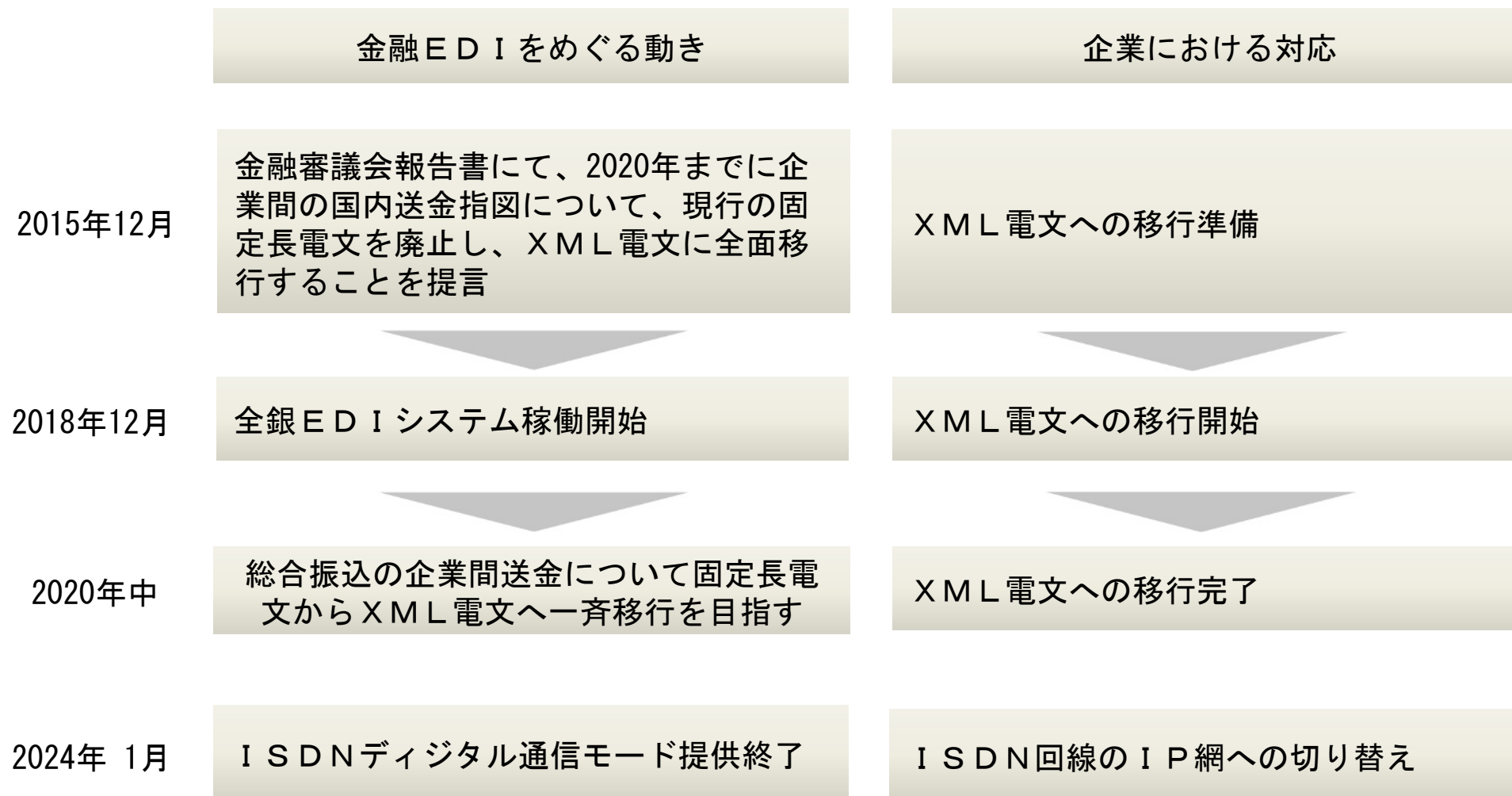
※3：法人マイナンバーを持たない事業者（個人事業主等）については記載不要。

※4：XML電文移行対象取引（予定）に、既に代替可能と思われる項目が存在するため、EDI情報欄への記載不要との整理が可能と考えられる項目。

【出典】中小企業庁研究会 金融EDIにおける商流情報等のあり方検討会議「金融EDI情報として格納すべき商流情報の整理について」（2016/12/22）

2. 全銀EDIシステムについて

2-1. 検討の経緯と今後の予定



※ XMLとは、Extensible Markup Languageの略称。膨大な情報を搭載する技術。

2-2. 対象となるサービスおよびチャネル

全銀EDIシステム（ZEDI）のご利用可能サービスとご利用可能なチャネルは、次のとおりです。

区分	ご利用可能サービス（注1）	ご利用可能なチャネル
支払 企業	総合振込	・インターネットバンキング（IB） ・一括ファイル伝送（FB）（注2） ・VALUX（注3）
受取 企業	振込入金通知 入出金取引明細	

（注1） 給与振込・賞与振込・口座振替（結果照会含む）等は対象外となります。

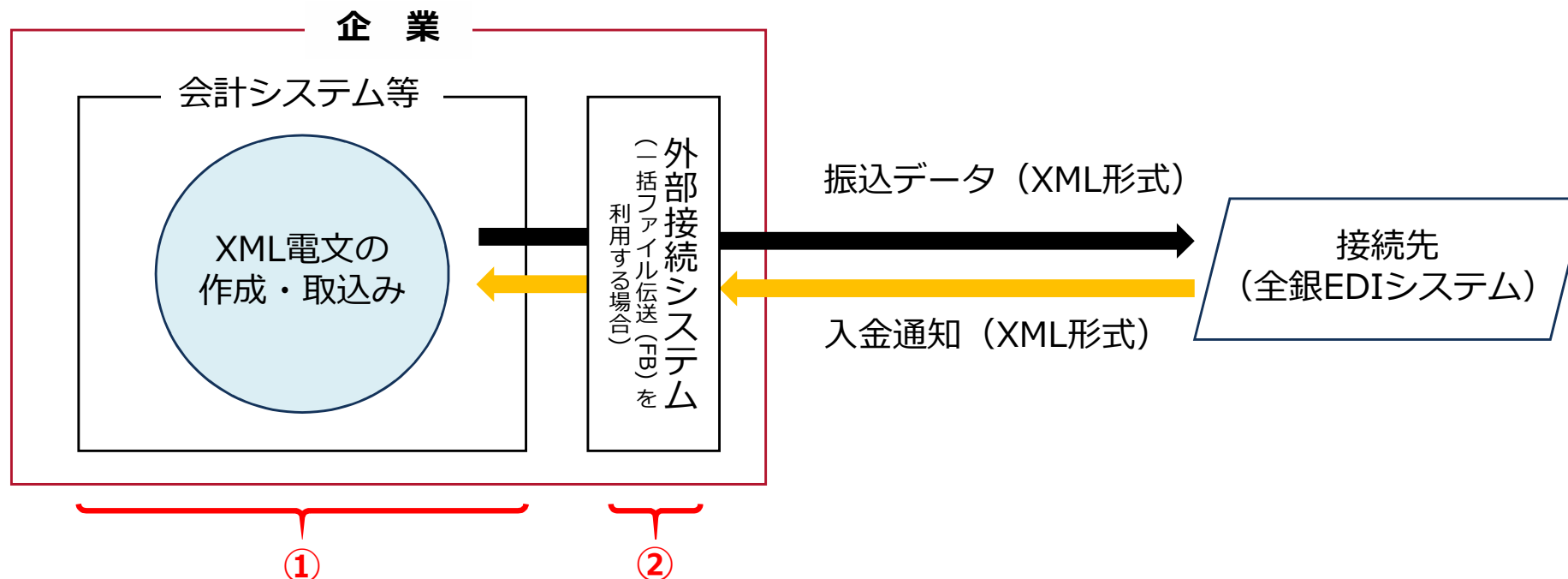
（注2） 通信パッケージソフトやFBソフト等をご利用のうえファイルを伝送するサービス

（注3） 専用ソフトを用いてインターネット経由でファイルを伝送するサービス

2-3. 全銀EDIシステムのご利用にあたって必要な対応

➤ 全銀EDIシステムの利用にあたっては、企業において主に以下の対応が必要となります。

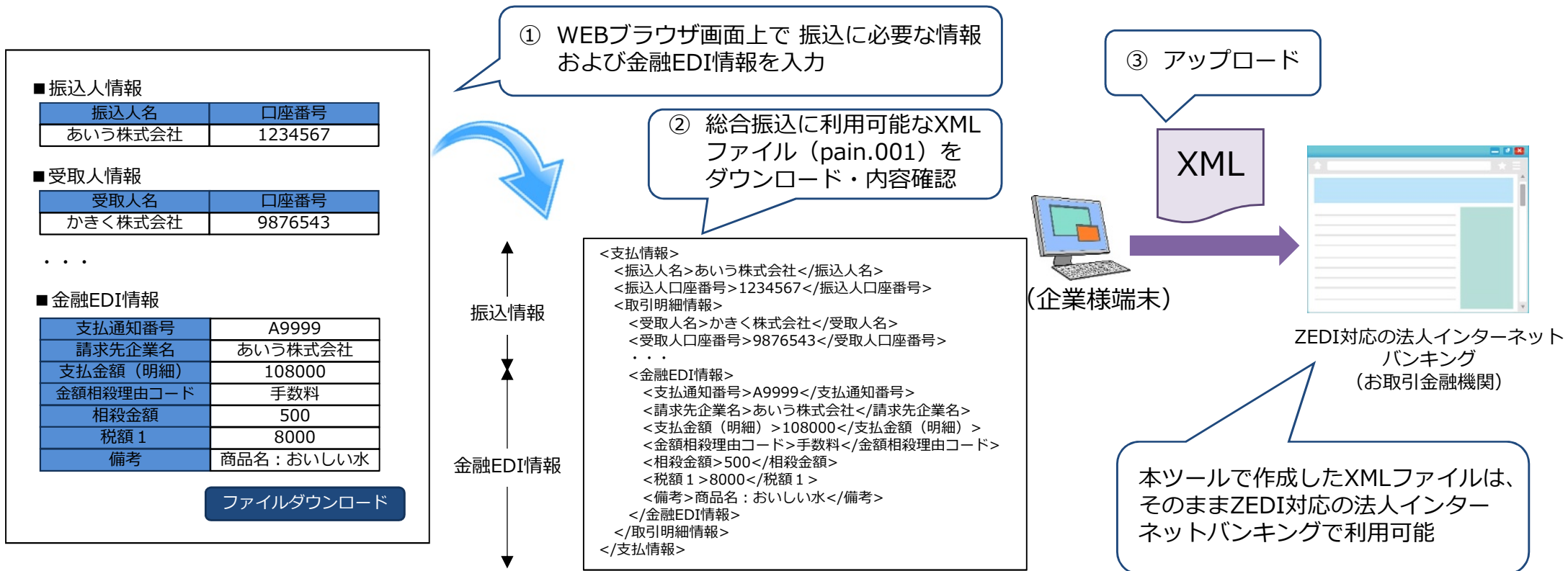
- ① XML電文を作成・取込むための、会計システムのソフトウェアのバージョンアップや入替え
- ② ファームバンキングを利用する場合、XML電文を送受信するための回線準備、通信ソフトウェアの設定変更、入替え（含む接続テスト）など



2-4. 簡易にXML電文を作成できるツール

- 全国銀行資金決済ネットワークでは、簡易にXML電文を作成できるツールとして、WEBブラウザ画面上で情報を入力する「S-ZEDI」(Simple-ZEDI)を無料で提供予定です。

ZEDI・・・全銀EDIシステムの愛称



2-5. 簡易にXML電文を作成できるツール

➤ 「S-ZEDI」において入力可能な情報は以下の18項目です。

「金融EDIにおける商流情報等のあり方検討会議」においてとりまとめられた金融EDI情報として格納すべき商流情報（本資料7頁）から抽出した**12項目**

消費増税・軽減税率対応で必要となる**5項目**

管理上利用する項目	最低限必要な項目	IT化推進による事務合理化に必要と思われる項目	利用可能とすべき項目	簡易ツールとして追加する項目
業界区分	支払通知番号	受取人企業法人コード	金額相殺理由コード	税額1
データ区分	支払通知発行日	請求先企業名	相殺金額	税率1
	請求書番号（入力推奨）	請求先企業法人コード		税額2
	支払人企業法人コード（入力推奨）	支払金額（明細）		税率2
				税額（合計）
				備考

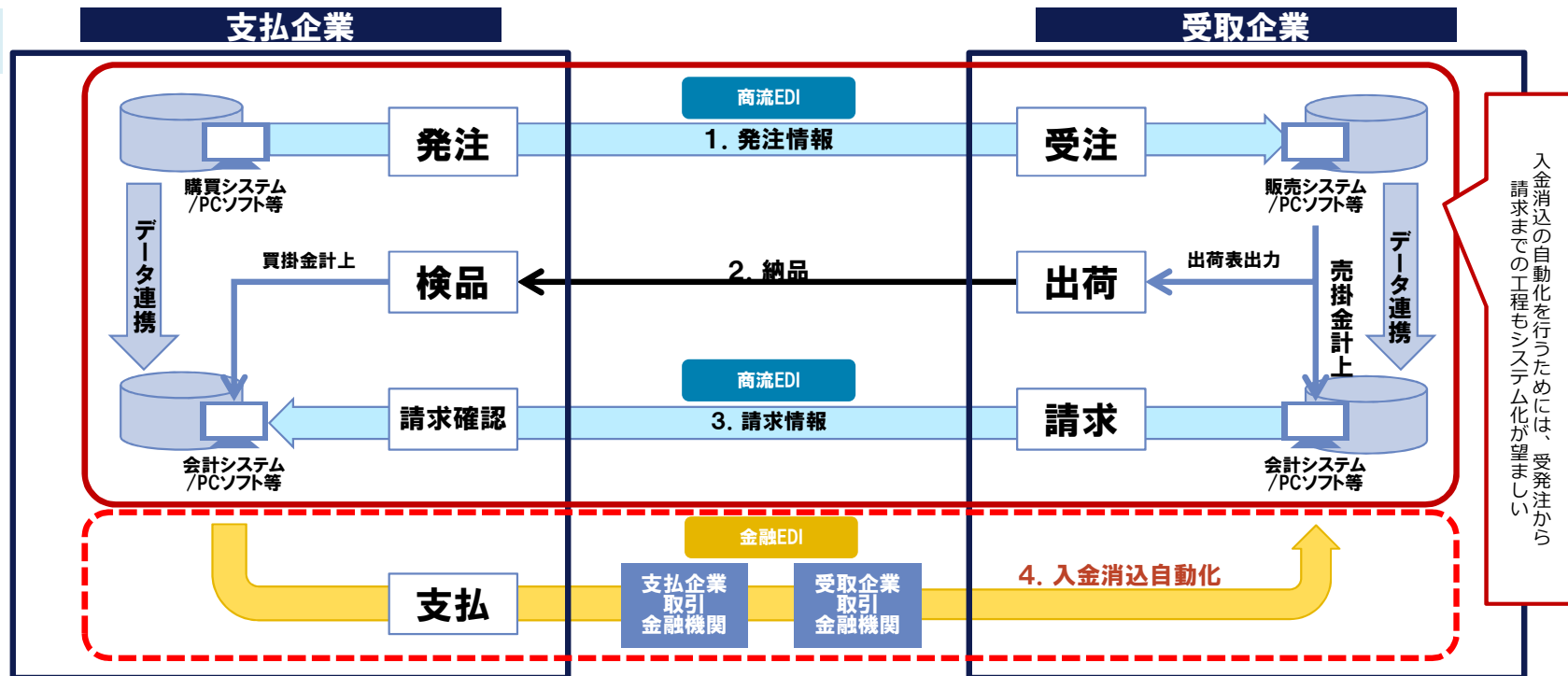
事業所情報や商品コード等、多様な項目の補記を可能とする**1項目**

（注）「S-ZEDI」は手入力を前提としており、取引明細情報は1ファイルあたり最大10明細までです。

2-6. 金融EDIを活用した経理関係業務の効率化

- 金融EDI情報を利用して経理関連業務の効率化を図ることができます。
 - ① 金融EDIのもととなる商流情報（商流EDI）の活用（イメージ図の1～3）
 - ② 会計システムとの連携による売掛金消込の自動化（イメージ図の4）

イメージ図



3. 足立成和の法人向け I B による 全銀 E D I システムの利用方法について

3-1. インターネットバンキングによる全銀EDIシステムのご利用方法

データアップロードによる総合振込依頼や入出金明細のデータダウンロードをご利用いただけます。

□対応メニュー

総合振込	XML形式(pain.001)のデータアップロードによる総合振込依頼が可能です。
入出金明細照会	XML形式(camt.052)のデータダウンロードが可能です。

3-2. 全銀EDIシステムを利用する際のご準備（IB編）

インターネットバンキングによる、ZEDIのご利用にあたっての主なケース^(注1)ごとのご対応は、次のとおりです。

- [ケースA] (IB利用) 市販の会計PKG^(注2)等を導入するご予定がなく、会計PKGとの連携をお考えでない企業様
⇒ 18頁~19頁をご参照ください。
- [ケースB] (IB利用) 市販の会計PKG等を導入し(またはしており)、会計PKGとの連携をお考えの企業様
⇒ 20頁~21頁をご参照ください。

(注1) 主なケースを記載しております。記載と異なるケースの場合は、当金庫にお尋ねください。

(注2) PKG：パッケージソフトのことをいっております。以下同じです。

3-3. 全銀EDIシステムを利用する際のご準備（IB編）

【ケースAに該当する企業様でのご準備】

ケースAに該当する企業様において主にご準備いただく内容等の例は、次のとおりです。

区分	例	ZEDIとの連携	ご準備いただく主な内容
支払企業様の場合 (仕向側)	受取企業様からの要請等により金融EDI情報を付して総合振込を行いたい場合	S-ZEDIおよびIBを利用して連携	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン (Windows7 SP1以上) ・インターネット接続環境 ・IBソフト
受取企業様の場合 (被仕向側)	金融EDI情報を利用した売掛金等の消込みを行わない場合	(特にご準備いただく事項はございません。現状どおりの消込みを行ってください。)	
	売掛金等の消込みを効率化するため、金融EDI情報を紙媒体等にて確認したい場合	IBを利用して連携	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン (Windows7 SP1以上) ・インターネット接続環境 ・IBソフト ・市販のファイル形式変換ソフト (注)

(注) XML形式の振込入金通知や入出金取引明細データを、ExcelやCSV形式に変換するソフトをいいます。

3-4. 全銀EDIシステムを利用する際のご準備（IB編）

【ケースAにおけるご対応イメージ】



総合振込ファイルの簡易作成（S-ZEDI）

全銀ネットが提供しており、WEBブラウザ上にて金融EDI情報等を画面入力することで、簡易にXML形式の総合振込ファイルを作成することが可能です。

専用ソフトの購入や会計システムの改修は不要です。

(URL <https://www.simple.zedi.jp/>)

振込入金通知・入出金取引明細の参照

市販のファイル形式変換ソフトを利用して、金融EDI情報等を画面上や紙への印刷で、簡易にExcel形式やCSV形式で参照することが可能です。

3-5. 全銀EDIシステムを利用する際のご準備（IB編）

【ケースBに該当する企業様でのご準備】

ケースBに該当する企業様において主にご準備いただく内容等の例は、次のとおりです。

区分	例	ZEDIとの連携	ご準備いただく主な内容
支払企業様の場合 (仕向側)	会計PKG等から出力した固定長やCSV形式の振込情報や金融EDI情報を利用して、総合振込を行いたい場合	市販のファイル形式変換ソフト ^(注) およびIBを利用して連携	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン (Windows7 SP1以上) ・インターネット接続環境 ・IBソフト ・市販のファイル形式変換ソフト
受取企業様の場合 (被仕向側)	取得した振込情報や金融EDI情報を固定長やCSV形式に変換して、会計PKG等に連携したい場合	IBおよび市販のファイル形式変換ソフトを利用して連携	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン (Windows7 SP1以上) ・インターネット接続環境 ・IBソフト ・市販のファイル形式変換ソフト

(注) 固定長形式・CSV形式⇔XML形式の変換を行うソフトをいいます。以下この頁において同じ。

3-6. 全銀EDIシステムを利用する際のご準備 (IB編)

【ケースBにおけるご対応イメージ】



会計PKG等



連携

ファイル形式
変換ソフト



総合振込ファイルの作成
(固定長等)

従来どおり市販の会計PKG等にて固定長形式・CSV形式の総合振込ファイルを作成します。

なお、現在ご利用の会計PKGへの影響や購入・改修等のご必要の有無をベンダーご確認ください。

ファイル形式の変換
(固定長等⇒XML)

固定長形式等からXML形式への変換ソフトが必要となりますので、ご購入のご検討をお願いします。

ファイル形式
変換ソフト



連携

会計PKG等



ファイル形式の変換
(XML⇒固定長等)

XML形式から固定長形式等への変換ソフトが必要となりますので、ご購入のご検討をお願いします。

会計PKG等への読み込み
(固定長等)

固定長形式等のファイルを会計PKG等にて読み込み・売掛金の消し込みを行います。

なお、PKGでの消し込み方法は、ベンダーにご確認ください。

3-7. 全銀EDIシステムの利用にあたっての手続き（I B編）

I BによるZEDIのご利用開始に向けた手続きは、次のとおりです。

	項目	内容
①	会計PKGや通信PKG等への影響のご確認	現在、会計PKGや通信PKG等をご利用の場合、当該PKGへの影響や購入・改修等のご必要の有無をソフト会社等にご確認ください。
②	接続環境のご準備	現在、I Bをご利用されている場合、接続環境のご準備は不要です。
③	お取引先様（支払企業様または受取企業様）とのご調整	お取引先様と必要に応じて、金融EDI情報の設定方法を、ご調整ください。 具体的には、受取企業様における入金消込に必要な情報項目の事前調整や支払企業様におけるこれら情報の設定方法のご調整が必要となります。
④	お申込み	現在、I Bで総合振込をご利用されている場合、追加でのお申し込み事項は、ございません。

3-8. 取引画面イメージ

The screenshot shows the '法人向けインターネットバンキングサービス' (Internet Banking Service for the Company) page. The main content area is titled 'アップロード開始' (Upload Start). It contains the instruction: '送信するファイルのパスと種別を指定し、[実行] を押してください。' (Specify the path and type of the file to be sent, and press [実行]). Below this is a text input field for the file path with a '参照...' (Browse...) button. Underneath is a 'ファイル種別' (File Type) dropdown menu with '全銀ファイル' (All Bank File) selected and 'XMLファイル' (XML File) visible. At the bottom are '実行' (Execute) and 'キャンセル' (Cancel) buttons. A red box highlights the 'XMLファイル' option, with a red arrow pointing to it from a text box.

2005/05/21 15:59:10

アップロード開始

送信するファイルのパスと種別を指定し、[実行] を押してください。

論理ディスクファイルパス名

[参照...]

ファイル種別

全銀ファイル
XMLファイル

[実行] [キャンセル]

ファイル種別の選択時に「XMLファイル」を選択のうえ、XML形式のファイルをアップロードすることで、XML電文の送信ができます。

3-9. 取引画面イメージ

法人様向け インターネットバンキングサービス
Internet Banking Service for the Company

オンライン取引 ファイル伝送 収納サービス 利用者情報変更 利用者情報照会 ログオフ

総合振込 給与・賞与振込 地方税納入 預金口座振替 入出金明細 振込入金明細 外部ファイル送受信

ファイル伝送 入出金明細 データ参照・印刷 2018/06/22 15:58:42

ファイル出力

入出金明細のファイルを出力します。
ファイル種別を選択して **ダウンロード** を押して、ファイルをダウンロードしてください。

ファイル種別

- 全銀ファイル
- CSVファイル
- XMLファイル

ダウンロード

ファイル種別の選択に「XMLファイル」を選択のうえ、XMLファイルをダウンロードしてください。
ダウンロード可能時間帯は、9:00~17:00です。
※振込元から金融EDI情報を受信していない場合、XMLファイル上の金融EDI情報欄は空欄となります。

4. 足立成和の一括ファイル伝送（FB） による金融EDIサービスについて

4-1. 一括ファイル伝送（FB）のご案内

データ送受信による全銀EDIに対応した総合振込や明細照会をご利用いただけます。

支払企業



pain.001

pain.002

Z E D I & 信用金庫

camt.052

camt.054

受取企業



□データ形式

pain.001	総合振込を依頼します
pain.002	pain.001で依頼した総合振込の受付結果を確認します
camt.052	入出金明細を確認します
camt.054	振込入金明細を確認します

□接続方式

JX手順	流通BMSが採用が採用する通信プロトコルです 通信ソフトウェアの設定変更や入替え、金融機関から提供されるクライアント証明書が必要です
------	---

4-2. 全銀EDIシステムを利用する際のご準備（FB編）

一括ファイル伝送（FB）によるZEDIのご利用にあたっての主なケース^(注1)ごとのご対応は、次のとおりです。

- [ケースC] (FB利用) 市販の会計PKGや通信PKG等を導入し(またはしており)、会計PKGとの連携をお考えの企業様
⇒ 28頁~29頁をご参照ください。
- [ケースD] (FB利用) FBにて利用する通信ソフトを自社開発するご予定の(またはしている)企業様
⇒ 別冊「全銀EDIシステム接続のガイダンス」をご参照ください。

(注1) 主なケースを記載しております。記載と異なるケースの場合は、当金庫にお尋ねください。

(注2) PKG：パッケージソフトのことをいっております。以下同じです。

4-3. 全銀EDIシステムを利用する際のご準備（FB編）

【ケースCに該当する企業様でのご準備】

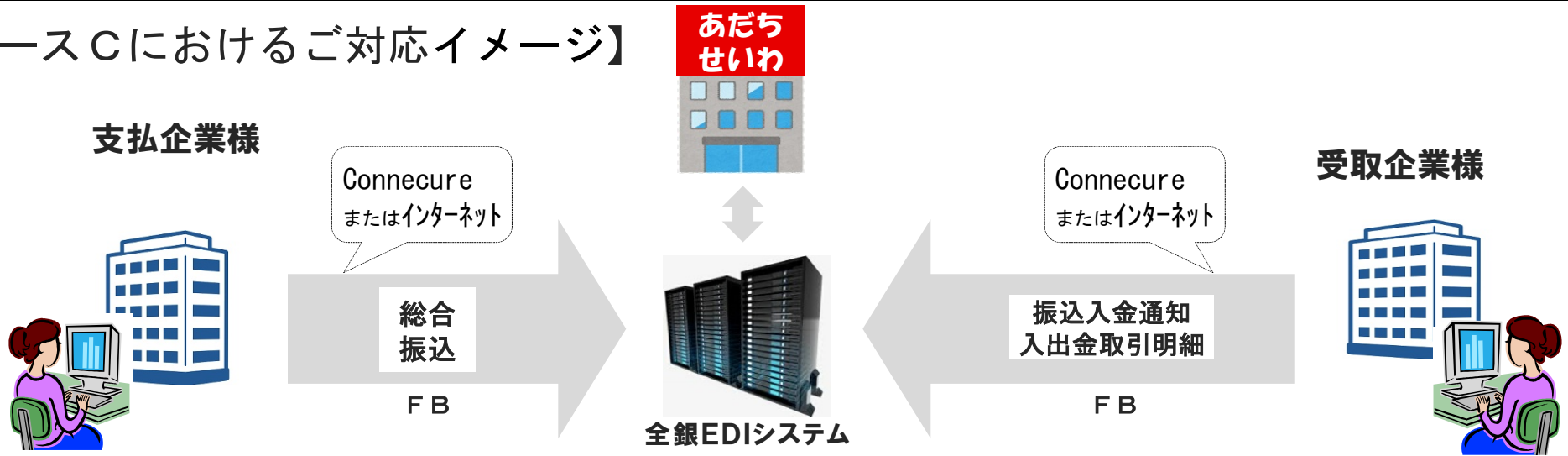
ケースCに該当する企業様において主にご準備いただく内容等の例は、次のとおりです。

区分	例	ZEDIとの連携	ご準備いただく主な内容
支払企業様の場合 (仕向側)	会計PKG等から出力した固定長やCSV形式の振込情報や金融EDI情報を利用して、総合振込を行いたい場合	市販の通信PKG ^(注) を利用して連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ パソコン (Windows7 SP1以上) ・ 市販の通信PKG (ZEDI対応) ・ Connecure (31頁ご参照) (インターネット接続の場合は不要)
受取企業様の場合 (被仕向側)	取得した振込情報や金融EDI情報を固定長やCSV形式に変換して、会計PKG等に連携したい場合	市販の通信PKGを利用して連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ パソコン (Windows7 SP1以上) ・ 市販の通信PKG (ZEDI対応) ・ Connecure (31頁ご参照) (インターネット接続の場合は不要)

(注) 通常、ZEDI対応の通信PKGには、固定長形式・CSV形式⇔XML形式の変換を行う機能およびクライアント証明書を管理する機能があります。

4-4. 全銀EDIシステムを利用する際のご準備 (FB編)

【ケースCにおけるご対応イメージ】



会計PKG等

通信PKG等

連携

総合振込ファイルの作成 (固定長等)

従来どおり市販の会計PKG等にて固定長形式・CSV形式の総合振込ファイルを作成します。

なお、現在ご利用の会計PKGへの影響や購入・改修等のご必要の有無をベンダーご確認ください。

ファイル形式の変換とFB通信

ZEDI対応の通信PKGが必要となりますので、バージョンアップまたは新規ご購入のご検討をお願いします。

通信PKG等

会計PKG等

連携

ファイル形式の変換とFB通信

ZEDI対応の通信PKGが必要となりますので、バージョンアップまたは新規ご購入のご検討をお願いします。

会計PKG等への読み込み (固定長等)

固定長形式等のファイルを会計PKG等にて読み込み・売掛金の消し込みを行います。

なお、PKGでの消し込み方法は、ベンダーにご確認ください。

4-5. 全銀EDIシステムの利用にあたっての手続き（FB編）

FBによるZEDIのご利用開始に向けた手続きは、次のとおりです。

	項目	内容
①	当金庫へのご相談	<p>ZEDIをご利用されたい場合には、まず当金庫にお問合せください。</p> <p>※ 当金庫でのサービス内容（ご利用条件、受付時間、料金等）をご案内します。</p>
②	会計PKGや通信PKG等への影響のご確認	<p>現在、会計PKGや通信PKG等をご利用の場合、当該PKGへの影響や購入・改修等のご必要の有無をソフト会社等にご確認ください。</p>
③	接続環境のご準備	<p>ZEDIへの接続環境をご準備ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FBソフト等の準備 ・ネットワークの準備
④	お取引先様（支払企業様または受取企業様）とのご調整	<p>お取引先様と必要に応じて、金融EDI情報の設定方法を、ご調整ください。</p> <p>具体的には、受取企業様における入金消込に必要な情報項目の事前調整や支払企業様におけるこれら情報の設定方法のご調整が必要となります。</p>
⑤	お申込み	<p>32頁～35頁の表をご参照ください。</p>

4-6. 全銀EDIシステムの利用にあたっての手続き（FB編）

FB接続によりZEDIをご利用いただく企業様は、次の事項にご留意ください。

(1) ネットワーク

ZEDIに接続するためのネットワークとして、インターネット回線またはConnecure®をご準備ください。

- ・ ネットワークについては別途利用料金が発生します。インターネット回線をご利用の場合は、インターネットサービスプロバイダへお問合せください。
- ・ Connecureについては、株式会社NTTデータが提供する回線（閉域網サービス）となります。Connecureサービスメニューおよび提供料金の詳細については「全銀EDIシステム接続のガイダンス」をご参照ください。

(2) 通信プロトコル

JX手順を使用した、HTTPSによる暗号化通信を行います。またConnecure接続においては、さらにIPsecによる暗号化を行います。

(3) クライアント証明書

ZEDIへFB接続する際には、クライアント証明書による接続認証が行われます。FB接続にあたり、当金庫のみご利用される場合のクライアント証明書（シングルバンク証明書）の発行までのお申込み手続きは32頁から33頁のとおりです。

なお、当金庫以外でもFBによりZEDIに接続する場合のクライアント証明書（マルチバンク証明書）の発行までのお申込み手続きは34頁から35頁のとおりです。

4-7. 全銀EDIシステムの利用にあたっての手続き（FB編）

【FB接続にあたってのお申込み手続き（シングルバンク証明書を発行する場合）】

	項目	内容
①	FBサービス利用のお申込み	ZEDIへの接続にあたり、FBサービスを新たにご利用される場合は、当金庫に対し申込書をご提出していただきます。
②	クライアント証明書発行申込書類のご準備	全銀nettウェブサイト上の所定のページにアクセスのうえ、クライアント証明書発行申込書、クライアント証明書利用規約をダウンロードし、必要事項をご記入ください。
③	ZEDI利用開始のお申込み	ZEDIのご利用開始にあたり、クライアント証明書利用規約をご確認のうえ、当金庫に対し、クライアント証明書発行申込書をご提出していただきます。

（次の頁へ続く）

4-8. 全銀EDIシステムの利用にあたっての手続き（FB編）

（前の頁からの続き）

項目	内容
④ 全銀ネットにおけるクライアント証明書発行処理と企業様への通知	全銀ネットでは、③の申請にもとづくクライアント証明書発行処理を行います。 その後、企業様には、全銀ネットからクライアント証明書取得に必要な情報が電子メール等により通知されます。
⑤ クライアント証明書のご取得	企業様は、全銀ネットからの通知を受け、通信PKG等からZEDIに対してクライアント証明書取得処理を行ってください。
⑥ ご利用開始	上記⑤までで、ご準備は整いました。 企業様は、クライアントソフトの設定や伝送ファイルの作成などを行い、ご利用を開始してください。

（注）実際にお申込が可能となるのは、ZEDIの稼働開始である、2月3日以降からになります。

4-9. 全銀EDIシステムの利用にあたっての手続き（FB編）

【FB接続にあたってのお申込み手続き（マルチバンク証明書を発行する場合）】

	項目	内容
①	クライアント証明書発行申込書類のご準備	全銀ネットウェブサイトの所定のページにアクセスのうえ、マルチバンククライアント証明書発行申込書、クライアント証明書利用規約をダウンロードし、必要事項をご記入ください。
②	ZEDI利用開始のお申込み	ZEDIのご利用開始にあたり、クライアント証明書利用規約をご確認のうえ、全銀ネットに対し、マルチバンククライアント証明書発行申込書をご郵送していただきます。
③	FBサービス利用のお申込み	ZEDIへの接続にあたり、FBサービスを新たにご利用される場合は、新たに利用するすべての金融機関に対し申込書をご提出していただきます。

（次の頁へ続く）

4-10. 全銀EDIシステムの利用にあたっての手続き（FB編）

（前の頁からの続き）

項目	内容
④ 全銀ネットにおけるクライアント証明書発行処理と企業様への通知	全銀ネットでは、②の申請にもとづくクライアント証明書発行処理を行います。 その後、企業様には、全銀ネットからクライアント証明書取得に必要な情報が電子メール等により通知されます。
⑤ クライアント証明書のご取得	企業様は、全銀ネットからの通知を受け、通信PKG等からZEDIに対してクライアント証明書取得処理を行ってください。
⑥ ご利用開始	上記⑤までで、ご準備は整いました。 企業様は、クライアントソフトの設定や伝送ファイルの作成などを行い、ご利用を開始してください。

（注）実際にお申込が可能となるのは、ZEDIの稼働開始である、2月3日以降からになります。

5. ご利用時間

＜当金庫のインターネットバンキングを利用したサービスの取扱時間＞

	平日	土曜日	日・祝日
金融EDIを利用した総合振込	9:00～17:00	お取り扱いできません	

＜当金庫のファームバンキングを利用したサービスの取扱時間＞

	平日	土・日・祝日
金融EDIを利用した総合振込	9:00～17:00	お取り扱いできません

6. ご照会先

(1) 全般

当金庫 事務支援グループ

電話：(03)5856-5122 (平日 9:00 ~ 17:00)

(2) F B利用に関するご照会先

イ. 全銀E D I システム (Z E D I) 関連

全銀ネット

メールアドレス：xml_system_info@zengin-net.jp

ロ. Connecure関連

(株) N T T データ ネットワークソリューション事業部 Connecure窓口

メールアドレス： connecure_sales@kits.nttdata.co.jp

(3) 現在ご利用の会計P K G、通信P K G等に関するご照会先

各P K Gのソフトウェアベンダーに直接をお問合せください。



地元・ふれ愛・しんきん感

足立成和信用金庫

